

白石音頭パレード入賞団体
 [子どもの部]
 優勝 Dance Studio HEAT
 準優勝 スポーツメイト白石蔵王 SMD Kids
 第3位 白石市古典芸能伝承の館 碧水園
 [大人の部]
 優勝 公立刈田総合病院
 準優勝 よさこい走乱白石城
 第3位 医療法人社団蔵王会 仙南サナトリウム
 アイデア賞 東北電力企業グループ
 ハッスル賞 いっちょやっつろ会
 ユーモア賞 ソニーセミコンダクタ株式会社
 白石蔵王テクノロジーセンター



笑顔たくさん！
 白石の
 夏のまつり

白石の夏のまつり

白石の夏のまつりの先陣を切ったのは、8月6～8日に武家屋敷で開催された「七夕まつり」。来場者は、願い事を書いた短冊を飾り付けた。

8月11日に行われた「白石夏まつり・白石音頭パレード」は、白石の「夏まつり」には欠かせないイベント。今年は大人の部20団体、子どもの部7団体、合計1,800人以上が参加した。参加者は、趣向を凝らした衣装を身にまとい、お手製の山車を引いたり白石音頭の振り付けをアレンジしたりするなど、工夫に工夫を重ねたパフォーマンスで観客を魅了した。

すまいるひろば周辺では、「白石市消防団伝統階子乗隊」による「伝統階子乗隊」が行われた。風の吹く中の演技となり、階子乗子を行うには難しいコンディションだったが、熟練の技術でカバー。技が決まると沿道の観客からは大きな歓声と拍手が湧き上がった。

パレードが通る中町・白石駅前通り周辺にはたくさんのお店の屋台が軒を連ねた。毎年人気を博す「流しうーめん」も行われ、熱い「夏まつり」と涼やかな「流しうーめん」の組み合わせは最高！子どもたちの人気を集めた。

壽丸屋敷では、8月10～11日の2日間、「第12回白石和紙あかり展示会」が開催された。5月～7月に行われた「白石和紙あかり制作ワークショップ」の参加者や市内小中学生など約110人が作った和紙あかりのうちわなど約90点を展示。来場者たちは、大正ロマン漂う壽丸屋敷と和紙あかりとが織り成す幻想的な雰囲気を楽しんだ。

例年であればパレードの翌日に開催されていた「花火大会」。今年はパレード後に「ファイナー花火」として約10分間にわたって花火が次々と打ち上げられ、白石の夜空に色とりどりの花が咲き乱れた。

8月12日には、「白石駅前盆踊り2014」が納涼・和から輪がJ.R.白石駅前西口広場で行われ、約1,000人もの人たちが集結。和太鼓グループ「幻創」や津軽三味線奏者小野越郎さんが駆け付け、まつりを盛り上げた。

台風接近の影響で開催が危ぶまれていた今年の「白石の夏のまつり」は、まつりに訪れた人たちの元気で空模様も回復！「白石の夏のまつり」という伝統が引き継がれ、会場は参加者や観客たちの活気と笑顔であふれていた。

大人の部 優勝チームを直撃！



みんなで一致団結するからこそ楽しい

公立刈田総合病院夏まつり実行委員 大槻 俊子 さん

私たち刈田総合病院チームは、7月上旬ころに振り付けを考え、7月中旬から8月上旬に刈田病院のリハビリセンターで10回以上練習を重ねてきました。昨年はよさこいの動きをモチーフにした振り付けでした。今年の振り付けは白石音頭の基本型を「スズメ踊り」風に、白石音頭の間奏の部分を青森ねぶた祭の「ハネト」の動き風にアレンジ。一つひとつの動きをダイナミックにして観客の皆さんを魅了できればと思い、新たな振り付けを考案しました。踊り手の隊列が左右入れ替わったり、観客側を見る体制で踊ったり、実際の動きにも工夫を加えてみました。観客の方に「きれいな踊りだね」と声を掛けていただけたことがうれしかったです。勤務形態の関係で、今年のパレードには約70人が参加。昨年よりも参加した人数は減ってしまったのですが、多くの職員が練習に参加してくれたり法被を着て踊る人数を増やしたりするなど、刈田病院全体がチームとして「一致団結」できたことが良かったと感じています。その結果、優勝できたことがとてもうれしかったです。

私は地元が市内なのですが、白石の夏まつりパレードは、普段なかなか会えない友人や知人が沿道にいて、会って話をすることができることや、同じ職場の人たちと「一致団結」して参加できるところが魅力。来年のパレードでの二連覇達成を目指し、また職場のみんなと楽しく参加したいと思います。